



Efficacy of superficial temporal artery-middle cerebral artery double bypass in patients with hemorrhagic moyamoya disease: surgical effects for operated hemispheric sides

著者名	石黒 太一
発行年	2019-05-17
URL	http://hdl.handle.net/10470/00032489

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 3032 号	氏 名	石黒 太一
審 査 委 員 会	主 査 教 授	北川 一夫	
<p>論文審査の要旨 (400 字以内)</p> <p>本研究は成人出血型もやもや病に対する STA-MCA bypass 術の効果を検討したものである。1999 年から 2014 年に脳神経外科で STA-MCA double bypass 術を施行した出血型もやもや病 36 例 52 側を対象とし、術側半球と非術側半球で出血予防効果および予後に差があるかを後方視的に検討された。出血側が明瞭な 20 例は出血側のみ手術を行い、両側出血例や出血側が同定不可能な 16 例は両側手術を施行された。全例で術後 bypass の開存は良好であった。術側の脳血流は平均で 1.3 倍となったが、4 例で過灌流症候群による皮質下出血を合併した。長期成績では術側半球 52 側のうち 3 側で、非手術側 20 側のうち 2 側で再出血を認めた($p=0.16$)。また、非術側半球 20 側のうち 2 側で虚血症状を認めたが、術側では 1 例も認めなかった($p<0.05$)。今回の検討から成人出血型もやもや病に対してバイパス手術は長期的には出血再発を減らす傾向と虚血症状の発現を抑制することが示唆され、臨床的に意義のある医学博士に該当する研究論文であると判断する。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表)【学校教育法学位規則第 8 条】</p>			